



🌻 第3回学校運営協議会・「熟議」 🌻

秋季休業中の10月2日（金）、本校体育館において第3回学校運営協議会が「熟議」というかたちで行われました。「熟議」とはそもそも何でしょうか？コミュニティ・スクールにおける「熟議」とは、多くの関係者（保護者・教職員・地域住人等）が集まり、「熟慮」と「討議」を重ねながら、地域や学校の課題について考え、理解し、話し合うことによって、それぞれが果たすべき役割への理解を深めるとともに、課題に対するより具体的な解決策を練り上げていくことで、納得したかたちで自分たちの役割を果たすようになる過程のことをいいます。

今回の協議会は、従来の委員、教職員の他に、分掌主任、学部副主任にも加わってもらい総勢27名により開催されました。「熟議」に先立って、過去2年間の活動を振り返りました。その後、2つのグループに分かれて、それぞれのテーマに沿って、約45分間話し合いをしました。テーマは次のとおりです。



Aグループ 「コミュニティ・スクールの今後の可能性について」

Bグループ 「コミュニティ・スクールのこれまでの活動を振り返る」

グループ討議の後、それぞれの討議内容を全体で共有し、質疑応答の時間を設けました。そのなかで、見直しが必要なこと、新たに推進すべきことが見つかりました。今回の「熟議」が、今後の活動の充実につながることを願っています。

コミュニティ・スクールは、地域の人をつなぎ、地域の人がつながりながら、地域を支え、よりよい社会を創っていく力を持った子どもたちを地域・保護者・学校が当事者となって育てていくなかで、我々大人も成長しながらよりよい地域、よりよい社会を創っていくことを目指しています。設置3年目を迎えた本校ですが、児童生徒もそして私たち大人も少しずつではありますが、一緒に成長しているように思います。

人と人との「つながり」とは、過去の人と未来の人をつなぐことも意味しているのではないのでしょうか。時間はかかりますが、過去を振り返り、未来へとつないでいくとても貴重な時間が、今回の「熟議」でした。

授業における「地域とのつながり」



第1回学校運営協議会で承認を得た今年度の学校運営方針のなかに「コミュニティ・スクール導入校として、地域の特性を活かした教育課程を工夫し、教育活動を展開する」というものがあります。具体的には、今年度の授業研究のテーマとして「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～地域とともに育てる授業づくり～」が掲げられ、現在、授業における地域資源の活用が積極的に行われています。今回は、そのなかからいくつかの事例を紹介します。

生活単元学習「でかけよう～地域の祭」小学部高学年

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、児童生徒が校外に出かけたり、外部から講師を招いたりすることもできないまま夏休みを迎えました。夏休みが明け、一定の落ち着きが見られるようになった頃、コミュニティ・スクールの本来の活動も少しずつ動き始めました。小学部での生活単元学習の授業では、地域の祭について子どもたちが一生懸命に調べたり、高等部の協力を得て山車を作ったりなど、とても積極的に授業に取り組む姿が見られました。でも何か足りない！そうです！本物に触れることはできないだろうか？そこで、つがる市商工会青年部のみなさんの力をお借りして、実際のお囃子を聴かせていただいたり、映像を見せていただいたりすることができました。7月から打合せが始まり、双方の担当者同士でのメールのやりとりをしながら準備をすすめました。青年部の方々には、二度にわたり、学校を訪れていただきました。特に2回目は、五所川原からの囃子方の皆さんにも加わっていただき、とても賑やかで迫力のある生の囃子を披露していただきました。子どもたちも大満足でした。感染対策に気を配りながらの授業でしたが、今後の交流の在り方を確認する貴重な機会にもなりました。





保健体育 武道（相撲） 中学部



今年度から、中学部では武道が必修化されています。本校では相撲を取り入れています。土俵マットの購入などとりあえず必要なものはそろいました。でも何か足りない！そうです！専門的な指導ができる講師がいないのです。西北地域では昔から相撲が盛んに行われてきました。特に隣接する鱒ヶ沢町は、大相撲で何人もの名力士が誕生している相撲の本場です。これ以上の環境はありません！支援依頼をしたところ快く引き受けていただき、青森県相撲連盟西つがる支部の方々による本格的な授業が行われました。講師として鱒ヶ沢町役場や鱒ヶ沢消防本部に勤務されている方々にもお手伝いいただきました。本物のまわし姿に、生徒たちも少し緊張しながらも気合いを入れて授業に取り組んでいました。3回にわたる外部講師による授業は、子どもたちにも私たちにも大きな刺激を与えてくれました。本校で用意したものよりもさらに立派な土俵を貸していただきました鱒ヶ沢町立舞戸小学校にも感謝です！今回の相撲の授業をきっかけに、さまざまな新しい「つながり」が生まれました！



作業学習（缶つぶし班） 中学部



中学部作業学習では「缶つぶし班」が、空き缶を回収し、きれいに洗浄し、それを潰してリサイクルにまわす作業を通年で行っています。今年度は、つがるロータリークラブの皆さんの御協力をいただき、空き缶を学校まで届けていただきました。また、県立鶴田高校との連携のもと、校内で出された空き缶を保管しておいていただき、本校の生徒たちがスクールバスを利用して回収のため鶴田高校を訪問する活動をしています。本校だけで回収できる空き缶の数には、どうしても限界があるため、とても助かっています。



つがるロータリークラブからの空き缶の提供



県立鶴田高校を訪れての空き缶回収作業

校外学習スタート!



新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができずにいた校外学習が夏休み明けから始まりました。マスク着用や手指の消毒はもちろん、スクールバスでの移動や見学先や昼食をとる場所の感染予防対策にも十分気を配りながらの実施になっています。



9月3日小学部つがる市立図書館訪問



9月4日小学部青森県産業技術センター
畜産研究所見学



9月8日中学部斜陽館見学



9月8日中学部斜陽館見学



9月8日中学部芦野公園訪問



9月17日高等部陶芸教室ちゅうばち
・津軽金山焼陶芸体験